

2. トイレの環境整備・利用のあり方

(1) 女性トイレの行列解消

《現状と課題》

外出先でトイレを利用するにあたって、駅以外の交通施設や大規模商業施設、鉄道駅といった、女性がよく利用する場所にあるトイレでは、混雑していないことを重視する意見が多い。なかでもほとんどの女性がよく利用する大規模商業施設においては、トイレを利用するために行列に並ばなければいけないことを不満に思っている女性の人数が多く、こうした場所では行列が常態化している可能性が考えられる。

その要因としては、当該施設の利用者数が増えるなどにより、トイレ利用者数に見合った個室便房数となっていないことなどのほか、和式便房が空室であっても利用しない人が多いことや、個室便房内で身だしなみを整えたり、化粧や着替えをするなど、用足し以外の目的で利用している人がいることなどが考えられる。

つまり、行列解消のためには、個室便房の数を増やすことが最も効果的であると考えられるが、そのためには既存スペースを拡張する必要があることや、施設の新設の場合であっても、本来の事業用途のためのスペースとの兼ね合いなど空間的な制約と、設備投資というコスト的な制約があることに留意が必要である。

また、近年では、車いす使用者などの障害者だけでなく、高齢者、子供連れなども利用できる多機能トイレが数多く設置されているが、その多機能性故にそれらの利用が集中して、そのトイレでしか用を足せない障害者にとって使いにくくなっているという指摘がある。国土交通省では、そうした指摘を踏まえ、多機能トイレの機能分散を図る方向で検討を進めており、トイレの整備にあたってはそうした事情も考慮する必要がある。

《取組の方向性》

上記課題を解決するために望ましい取組の方向性としては、施設の新設や改修のタイミングで、施設の利用実態（予測）を踏まえた、行列が発生しない程度の便器数を確保することや、和式便房の空室が行列の要因のひとつとなっている可能性も踏まえ、便器数の確保にあたっては洋式便房を基本とすることが挙げられる。

また、施設設置管理者ごとの空間的な制約やコスト的な制約に応じて取り組むのが望ましいこととして、施設の新設や改修のタイミングで、トイレの広さや施設の利用者構成に応じた男女別の便器数のバランス、施設利用者の行動を予測したトイレの適切な設置場所などについて検討することが挙げられる。なお、検討にあたっては利用集中が問題となっている多機能トイレの機能の分散化等の議論を踏まえて進めていくことが望ましい。

そのほか、個室便房内を用足し以外に利用することが行列発生の一因の一つと考えられることから、個室便房とは別のフィッティングルームや、手洗い場所とは別の化粧直しや身だしなみを整えることができるパウダーコーナーやパウダールームを整備することも望ましい。

なお、便器数の確保にあたり洋式便房を基本としているが、広さに余裕があり、かつ個室便房数が多い場合は、和式便房の利用ニーズも一定程度あることを踏まえて、一部を和式便房とすることが望ましい。

さらに、上記行列解消のための取組のほか、混雑や行列が常態化しているトイレにおいてその旨を明示するとともに近隣トイレへの誘導を促す案内板を設置することや、近隣施設と連携して互いのトイレに誘導できるシステムを構築する取組も望ましい。

一方、イベント開催時など一時的に需要が急増する場合には、洋式便房を基本とした仮設トイレを設置することも行列解消につながる取組として望ましい。

出典：国土交通省ホームページ「女性が輝く社会づくりにつながるトイレ等の環境整備・利用のあり方に関する取りまとめ」（2017年3月）より抜粋